

👍 からだに関するおすすめの本 👍

おとうさんの手【講談社】

(作)まはら三桃 (絵)長谷川義史

事故で目が見えなくなったお父さんと娘かおりのある日のひととき。お父さんは目が見えなくても、耳で聞き、鼻で嗅ぎ、手で触れる事でなんでもわかってしまう！そんなお父さんと同じように感じてみたくなったかおりは、お父さんのそばに座り、目をつぶってみるのです。

ほねほね...ほ！（かみしばいからだってすごい！）

【童心社】(脚本・絵)若山甲介

傘にも骨があるって知ってる？もし無かったらどうなるか？魔法の言葉で無くしてみるよ「ほねほね～ほっ！」骨が無いと、ぐにゃあ～。雨が降ってもびしゃあ～。骨は傘を支えてるんだ。動物にも骨があるよ。のぞいてみよう「ほねほね～ほっ！」

かさぶたくん(かがくのとも傑作集)【福音館書店】

(作)やぎゅう げんいちろう

おとなでもついついとりたくなっちゃうかさぶた。「でもとっちゃだめよ！」「どうしてとっちゃいけないの？」という素朴なギモンに大きな挿し絵とともに分かりやすく答え、諭してくれる本。読みながら、かさぶたの力に思わず「すごいね」と感心しちゃいますよ。

からだのなかにはなにがある？【岩波書店】

(文)キム ヨンミョン (絵)キム ユデ (訳)かみやにじ

びんの中には牛乳、ぶた貯金箱にはお金が入ってる。じゃあ、体の中には何が入ってるの？食べた物がどっさり詰まってる？うんちやおしっこやおならも入ってるんじゃない？だったら...こんな感じ？体の中を探検しよう！

ちのはなし(かがくのとも傑作集)

【福音館書店】

(文・絵)堀内誠一

どっきん どっきん しんぞうが身体中に「ち」をおくっている音。「どうみやく」「じょうみやく」「せつけきゅう」「はつけきゅう」「けっしょうばん」と難しい言葉もできますが「ち」のことがよくわかるお話です。

てとてとてとて【福音館書店】

(作) 浜田桂子

手は毎日いろいろなことをします。楽器にもなるし、握手をしたり、手話で話をしたり、点字を使って読むこともできます。手はみんなの心と心をつなぎます。

